

第2回 定例会

区政をとりくむ 一般質問



野方駅整備に遅れはないか

自由民主党議員 大内 しのぶ

野方駅の南北自由道路と駅舎の整備は、今年1月に建設工事が始まった。駅には新しい完成予想図も掲示されるなど、いよいよ地元

の期待も高まりつつある。現在は、掘削などの基礎工事が行われていると聞いているが、柱や壁などの具体的な建築物は目に見える状況にはなっていない。区長

は昨年(平成22年)の第4回定例会で「平成22年秋には南口を含む

たり、南北の階段の外壁には壁面緑化を行うなど、環境や景観に配慮していく。

定額給付金の速やかな支給を実施せよ

区は23区でも早い時期に定額給付金の支給を開始したが、区民からは中々自分の口座に入金されないといった声を耳にする。家計への緊急支援の観点からも速やかな給付が必要だが、これまで申請された件数と給付決定した件数は、申請から給付までにかかる日数は、申請の締切日は、

区長 ①申請書送付件



野方駅完成予定イメージ図

忘れずに使用するよう、区民にPRしていく責任があると思うがどうか。

区長 ①5億1400万円で販売率は約94%に達した。②区商連と連携しながら、区報やホームページなどで周知徹底を図りたい。区内業者への優先的発注を

警大跡地の道路整備など、大型事業には、大手ゼネコンの参入が予想される。厳しい競争を強いられる区内事業者には、緊急経済・雇用対策として、区の工事を優先発注するなどの取り組みを検討すべきではないか。

区長 区内事業者の育成にもつなげられるような運用を検討していきたい。

区長 中野駅周辺一帯のまちづくりは、警察大学校等跡地のまちづくりを契機として、新たなにぎわいをつくり出していくことと、区内全域に経済活動を波及させ、地域経済とまちの活性化を牽引していくことを目的としており、これからの中野の将来を築いていく上で大切である。経済状況を見極め、まちづくりの時機を逸しないよう、長期にわたる大規模な事業を着実に進めていきたい。

区長 ①区独自の調査は実施しておらず、実態の把握に努めたい。②担当部署が特に定まっていなかったため、対応のあり方について研究したい。

区長 ②国の動向や先自行自治体の状況などを勘案しながら検討する。

現在、働きたくても働けない若者が急増している。①区にも働けない若者が少なくないと思うがどうか。②若者を総合的に支援する体制が行政でも出来ていない。まずは相談の窓口とな



中野駅周辺の大規模再開発について見直しせよ

日本共産党議員団 長沢 和彦

行政報告の中で歳入確保が厳しいとしながら、中野駅周辺まちづくりや中野サンプラザと区役所の再整備など、大規模再開発を見直すことなく進めるのは、区民の暮らしや福祉を削ることになるのでは。警察大学校等跡地など、中野駅周辺の大規模再開発も区の考え通りに進む保証はない。突き進むのではなく、立ち止まって検討し直すべき時と考えるが、区長の見解は。

保育園跡地への私立保育園の開園、保育室の認証保育所への移行、認定こども園に認可保育園としての受入れがあることなどから来年4月には待機児童数の大幅な解消を図ることができる。「子どもの貧困」克服を子どもの貧困率が上昇傾向にある。すべての子どもに当たり前の医療、環境、教育を与えるため、①生活保護の母子加算廃止撤回を国に求めたい。②父子家庭へ区独自の手当を支給しては。③義務教育における私費負担軽減を検討しては。

区長 保育園の待機児童解消対策は、これまでさまざまな対策を組み合わせて行ってきた。今後も総合的に対策を進めていく。また、

区長 ①検証の結果廃止されたものであり、区から廃止の撤回を求める考えはない。②実態などから勘案して、直ちに独自の手当を支給する考えはない。③所得状況にかかわらず一律に私費負担を軽減する考えはない。



保育園での本の読み聞かせ



コミュニティ・スクール化はできる地域からはじめよう

民主クラブ 奥田 けんじ

学校支援ボランティア制度による中野区版コミュニティ・スクール化については、一斉実施ではなく地域野の教育に向けた検討会「地域との連携」として検討課題となっている。

女性のがん検診受診を推進して尊い命を救え

公明党議員団 やながわ 妙子

日本は世界一のがん大国になっているが、女性のがん検診受診率は2割と低い。①がん検診の必要性を周知するため、ホームページリンク集をつくってみては。また、区民の目に触れ、参加しやすいイベントを開催すべきでは。②区にはマンモグラフィの設備を含めた検診キャパシティはどれだ

けあるのか。また、無料の検診クーポンが今後配布される予定だが、その受け皿となる医療機関をどう確保するのか。③がんに関する教育を若い世代向けに積極的に検討すべきでは。

区長 ①区民が情報収集しやすいよう、国や都とのリンクを検討したい。イベントなどの開催について

①学校内でアレルギー疾患、特にアナフィラキシーショックの症状が発症した場合に、「エピペン」の注射などの対応ができるよう、

研修や実習を行うべきでは。②他自治体で始まったヒブワクチンの公的助成を中野区でも早期実施すべきでは。

区長 ①今年度から都府県で実施予定の研修会に教職員が参加を検討している。

区長 ②国の動向や先自行自治体の状況などを勘案しながら検討する。

区長 スペースが狭いことから十分な機能の確保は困難であるが、検討していきたい。